

第8回 学術知共創プロジェクトワークショップ

～新たな人類社会を形成する価値の創造～

テーマ代表者：出口康夫 京都大学大学院文学研究科教授



文部科学省委託事業
人文学・社会科学を軸とした
学術知共創プロジェクト



大阪大学
OSAKA UNIVERSITY



VULNERABILITY

— AI・ロボット・サイボーグと“ひと” —

2022.03.17_{Thu.} 15:00-17:00

AIをはじめとする科学技術の加速度的発展は、映画や漫画で描かれてきた、ロボットやサイボーグと“ひと”が共存・共生する社会の実現をすぐそこまで手繰り寄せています。AI・ロボット・サイボーグと共存・共生するが社会では、“ひと”がもつVulnerability（傷つきやすさ、可傷性）は解消されるのか？それとも共存・共生が新たなVulnerability（傷つきやすさ、可傷性）を生んでしまうのか？また、“ひと”は、傷ついた際に、その瞬間に伴う「痛み」に加え、「生々しい（身体的・心理的）傷跡」を残す点など、一旦失われた機能・構造が修復されたとしても完全に元に戻らない、取り返しのつかなさや備えています。このようなVulnerabilityをロボットやAIも備えるべきか、そもそも持つことは可能なのかといった論点を中心に徹底討論します。

●オンライン開催 ●参加費：無料 ●定員：参加（甲）：9名／参加（乙）：最大15名程度

※参加方法の詳細はホームページをご覧ください

事前申込は
こちらから

▶ 公募期間 ◀

2022年2月18日
～3月11日

参加者用



or

クリック

視聴者用



or

クリック



新たな人類社会を形成する価値の創造

VULNERABILITY

—AI・ロボット・サイボーグと“ひと”—

Vulnerabilityをテーマに、AI・ロボット・サイボーグと“ひと”が相補的な関係を築けるのか？
そして違いをどう捉えていくかについて、先端技術者と人文学者・社会学者の視点を交差させて徹底討論します。



■ テーマ代表者：出口康夫 京都大学大学院文学研究科 教授

専攻は哲学。京都大学大学院文学研究科博士課程修了。博士(文学)。現在、同大学院哲学専修教授・京都大学副プロボスト。数理哲学に加え、新領域である分析アジア哲学を研究。近著にWhat Can't Be Said: Contradiction and Paradox in East Asian Thoughts (Oxford University Press, 2021)がある。京都大学人社未来形発信ユニット長としてオンライン講義シリーズ「立ち止まって、考える」を主導すると共に、NTTや日立製作所との産学連携も行っている。

話題提供&全体討議 | 話題提供者



田口 茂 Shigeru Taguchi

北海道大学人間知×脳×AI研究教育センター長

ヴッパータール大学(ドイツ)大学院哲学博士課程修了。哲学博士(Dr.phil.)。北海道大学大学院文学研究科教授。専門は哲学、特に現象学。近年は数学者・神経科学者・ロボット工学者らと「意識」や「自己」をめぐる学際的共同研究を行っている。CHAINでは大学院生向けの文理融合的教育プログラムも展開している。主著Das Problem des 'Ur-Ich' bei Edmund Husserl (Springer, 2006)、『〈現実〉とは何か——数学・哲学から始まる世界像の転換』(西郷甲矢人氏との共著、筑摩書房、2019)他。



田崎 有城 Yuki Tazaki

株式会社KANDO 代表取締役

ディープレックスタートアップと並走しながらファイナンス視点も含めた総合的なハンズオン支援を行うクリエイティブファームKANDO代表。リアルテックファンドメンバーとしても多数のテックベンチャーを支援する。実績としてサイボーグベンチャー「MELTIN」では、国内外でのモメンタム作りに貢献し、シリーズBにおいて20.2億円調達。パーソナルモビリティ「WHILL」MaaS事業CES展示、HRテック「ZENKIGEN」事業コンセプトリードなど。2021年に先端研究者のロングインタビューメディア「esse-sense | エッセンス」共同創業。同年、気候変動に対応する海上建築スタートアップ「N-ARK | ナーク」創業。

プログラム

- 15:00 WS案内
小出直史 大阪大学SSI 特任准教授
- 15:05 開会挨拶
堂目卓生 大阪大学SSI長/プロジェクトマネージャー
- 15:15 イントロダクション
出口康夫 京都大学大学院文学研究科 教授
- 15:25 話題提供&全体討議
- モデレーター
井野瀬久美恵 甲南大学文学部 教授
- 話題提供①
田口茂 北海道大学人間知×脳×AI研究教育センター長
「生命の不安定性と生命的コミュニケーション」
- 話題提供②
田崎有城 株式会社KANDO 代表取締役
「後日発表」
- 16:55 閉会挨拶
出口康夫

話題提供&全体討議 モデレーター



井野瀬 久美恵 Kumie Inose

甲南大学文学部教授

京都大学大学院文学研究科(西洋史学専攻)博士課程単位取得退学。博士(文学)。専門はイギリス近現代史・大英帝国史。『植民地経験のゆくえ——アリス・グリーンとのサロンと世紀転換期の大英帝国』(人文書院、2004)で女性史青山なを賞を受賞。『子どもたちの大英帝国』(中公新書、1992)、『大英帝国という経験』(講談社、2007; 講談社学術文庫、2017)など著書多数。

